



松ヶ江南小だより

学力特集号
令和4年1月27日
北九州市立松ヶ江南小学校
校長 緒方 美加子

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

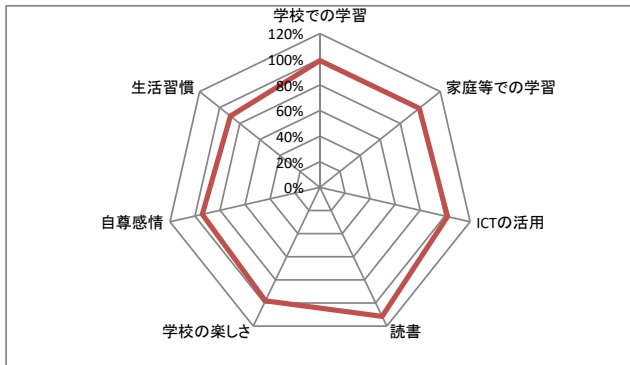
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	全国平均正答率を下回ったが、「記述式」の問題で全国平均正答率を上回る問題もあった。	下回っている
算数	・全国平均正答率を下回ったが、「数と計算」の領域においては、全国平均正答率を上回った。	下回っている
理科	全国平均正答率を上回った。特に短答式の問題形式の正答率が高かった。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

○「読書」「ICTの活用」は全国平均値を上回っている。「読書」においては、朝読の成果がでていると考えられる。「ICTの活用」に関してはICT推進チームを中心に職員研修を行い学校全体で、CTを活用した授業づくりに取り組んでいることが結果につながっている。

○「生活習慣」においては、全国平均値より低い傾向にある。規則正しい食生活や基本的な生活習慣の定着、生活時間の見直し・改善等の大切さや必要性について、保護者へ情報を発信するとともに協力を依頼する。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・「学びの質を高める授業」づくり5つのポイントを主題研修に位置付け、ユニバーサルデザインの視点からのどの子にもわかりやすい授業づくりに取り組んでいる。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・家庭学習に対する課題を受け、業間学習と家庭学習の連携を図ることで、基礎的・基本的学習内容の定着を図るとともに、学習習慣の確立に取り組んでいる。